

令和6年度「海の教室 ～フェリー乗船体験～」(令和6年11月17日(日)実施)

近畿運輸局和歌山運輸支局では令和6年11月17日(日)、海事関係団体との共催で「海の教室 ～フェリー乗船体験～」を和歌山～徳島間を航行中のフェリーで開催しました。この乗船体験は、海事思想の普及及び将来における内航船員確保推進対策の一環として実施しているもので、当支局管内のフェリー会社の協力を得て行い、また、当支局以外の主催者である和歌山県海運協会、和歌山県海運組合、公益社団法人近畿海事広報協会、近畿内航船員対策協議会とも連携して開催することができました。当日は岩出交通少年団の団員とその保護者等及び関係者47名が参加しました。

今回の「海の教室 ～フェリー乗船体験～」は、和歌山～徳島間を約2時間で結ぶフェリーを運航している南海フェリー株式会社の「フェリーあい」と「フェリーかつらぎ」の船内において、往路(和歌山→徳島)及び復路(徳島→和歌山)にて、それぞれで行いました。

往路では、10時35分発徳島行き「フェリーあい」(2,825トン)に乗船した後、イベントスペースにて、主催者を代表して、近畿運輸局和歌山運輸支局の森下孝一支局長が挨拶し、続いて、南海フェリー株式会社取締役社長小林敏二氏からも挨拶をいただき、「海の教室①」として、近畿内航船員対策協議会の白石構成員(白石海運株式会社取締役)が講師となり、「海と船に関するお話し」と題して講演をしていただきました。



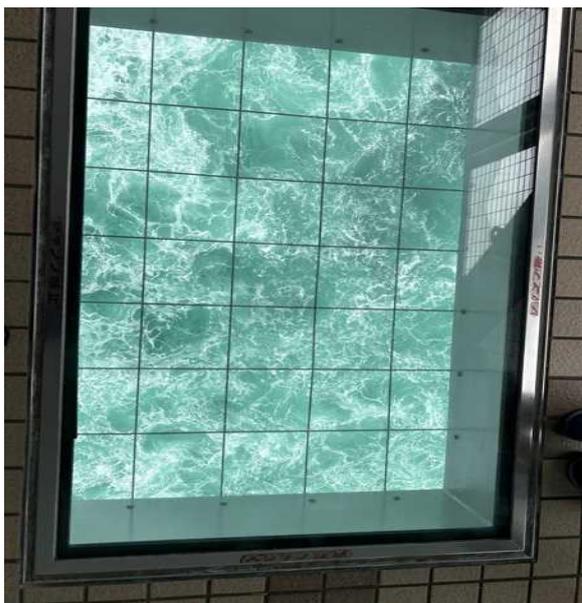
講演では講師が手作りしたパネルや船の形をしたプラスチック製組み立てブロック玩具を使って、海運や船員の仕事が身の回りの生活にどのように関わっているのかを紹介していただきました。また、子ども達が積極的に参加できるように、海運に関するクイズを出題する形で行い、出題されるたびにたくさん子ども達から手が挙がり、今まで

知らなかった世界の話に興味を持ってくれたようです。また、保護者等の方々にも「船員の仕事」に関心を持っていただけたようで、将来の船員確保に繋がる有意義な講演となりました。

講演後の質問では、終了時刻を超えるほど子ども達から次々と手が挙がり、「海の教室①」の講演は盛況のうちに終了しました。その後、「フェリーあい」は定刻どおり12時50分に徳島港に到着し、下船しました。



下船後は、さらに海に興味をもってもらうために徳島県鳴門市にある「渦の道」を岩出交通少年団の団員とその保護者等及び関係者で訪れました。「渦の道」は鳴門海峡に架かる大鳴門橋の橋桁内に造られた海上遊歩道です。子ども達の中には、高い所が苦手な海上遊歩道を歩けない子どもがいましたが、海上遊歩道を歩いた子ども達は遊歩道から見る渦潮に感激し、親子でたくさん写真を撮っており、楽しい一時となったようです。



「渦の道」の後は、道の駅に立ち寄り、徳島港に再び戻り、「フェリーかつらぎ」に乗船しました。復路でも、「海の教室②」として、参加者を1班と2班に分け、南海フェリー株式会社の船員の方から「船内見学」と「ライフジャケット着用体験・ロープワーク体験」を行っていただきました。

1班は最初に「船内見学」を行い、通常立ち入る事が出来ない船橋も特別に見学させていただきました。船橋では、子ども達は実際に舵に触れ、船員の方から舵の切り方を教えてもらったり、双眼鏡を覗いて、他の船が近くに見えることに、興味津々で、船橋を満喫していました。

また、2班では、イベントスペースにて「ライフジャケット着用体験・ロープワーク体験」を船員の方による指導の下で学び、最初にライフジャケットの着用体験を行い、子ども達は船員の方から「窮屈でもしっかりと紐を締めましょう」など正しい着用方法を教わっていました。続いて行われたロープワーク体験では、もやい結びの結び方について学びましたが、子ども達の中にはうまく結べない子どももいたものの、「役に立ちそう」などと楽しんでいました。その後、「船内見学」と「ライフジャケット着用体験・ロープワーク体験」を各班交代して行い、「海の教室②」を終了しました。



その後、子ども達は南海フェリー株式会社が用意してくれた船長服を着て、記念写真を撮るなどして、船旅を楽しんでいました。「フェリーかつらぎ」は定刻である18時35分に和歌山港に到着し、本日の「海の教室 ～フェリー乗船体験～」を無事に終了しました。

今回の「海の教室」では、将来を担う子ども達に海運の重要性を知ってもらうことができただけでなく、「船内見学」等を通して船にも興味を持ってもらうこともできました。また、子ども達だけでなく、その保護者等の方々にも参加していただきましたので、船員の仕事についても広く周知することができ、将来における若年船員確保の推進にも繋がったものと思われます。

最後になりましたが、当支局では今後も「海の教室 ～フェリー乗船体験～」をはじめとした様々な取り組みに尽力し、海事思想の普及や内航船員確保推進に務めていきたいと思っております。

(近畿運輸局和歌山運輸支局)